



公明党 山本半治 議員

運用3年「マイレボはんだ」の活用で市民協働の推進について

スマートフォンを使い地域の問題解決を行う「マイレボはんだ」。全国から多くの視察を受け入れている先進市として、投稿者を増やす具体的な取り組みを行うべきではないか。

防犯パトロール隊や小中学校のPTAの若い世代に対して説明会を実施し投稿者の増加に努めると共に、自主防災訓練や防災講話の参加者また消防団などにも災害情報収集機能の追加を含めて周知していきます。

「マイレボはんだ」を活用した市民により問題解決できる仕組み作りを行うべきではないか。

地域の方々が問題解決に参加する取組みを増やすことが市民協働の推進に繋がると考えますので、仕組み作りに取り組んでまいります。

公的年金受給資格期間短縮（25年から10年）による受給対象者支援について

資格短縮者への年金支給が始まっているが全国的に6割から7割しか受取手続きをしていない。また、10年未満でも任意加入・後納制度・合算対象期間・年金加入記録漏れ期間などをカウントすることで受給資格者となれる可能性がある。日本年金機構からの周知不足を補うために、本市で無年金者救済に向けた広報支援の協力ができないか。

公的年金制度は老後の国民生活に極めて大切な制度です。改正内容や納付期間10年未満の対応などを市報やホームページまた年金機構を招いた説明会などを開いて周知に努めます。

本市から無年金者を減らすために、無年金者救済の専門相談窓口を国保年金課に設置すべきではないか。

無年金者救済のため職員への知識向上を図ると共に、より丁寧な説明に努めるための相談窓口の設置を行っていきます。



日本維新の会・無所属連合 竹内功治 議員

市に生息、また生息の可能性のある有毒生物の対策を伺う

全国でスズメバチ類は年間約20件、蛇類は約5件の死亡事故がある。市の被害状況を伺う。半田病院への受診者になりませんが、スズメバチ等の蜂類は昨年度41名、今年度10月末で52名、蛇類は昨年度3名、今年度10月末で3名です。

スズメバチ類の毒によるアナフィラキシーショックは、最悪の場合死に至る。半田病院の医療体制を伺う。緊急性を要する治療は救命救急センターにて対応しており、スズメバチ類は症状を緩和する対処療法を実施します。またマムシは血清であるマムシ抗毒素を投与、ヤマカガシは全身の止血作用を失う危険性を防ぐ為の対象法を実施します。

幼稚園・保育園・小中学校における有毒生物の対応を伺う。昨年、今年で児童生徒がマムシに噛まれている被害が2件起きている

為、全教職員と児童生徒への周知と指導の徹底、保護者へ学校メルマガで注意喚起の通知等、再発防止に努めています。

市に生息していると考える特定外来生物のセアカゴケグモの生息状況とその対策を伺う。平成24年に市内で発見されて以降、既に市内全域で生息しているとされており、昨年度から春の大掃除時に注意喚起のチラシを全自治区へ配布しています。

ヒアリが生息している可能性はあるのか。国内でヒアリが発見されてから衣浦港中央埠頭で職員による目視調査、民間企業から情報収集、市民からの問い合わせ等で固体確認していませんが発見されていません。仮にヒアリに噛まれた際の対応を伺う。

ヒアリもアナフィラキシーショックによる危険性が高い為、症状を緩和する対処療法を実施する事になります。いつヒアリが発見や生息するか分からない。更に注意喚起を強化すべきではないか。

あらためて公的施設等に注意喚起のポスターの貼付を考えます。



無所属 山本佳代子 議員

半田市立半田病院の移転問題について

建設候補地の突然の場所の変更でしたが、どの様な理由、経過で変更に至ったのですか。10月30日、愛知県の大村知事による仲裁により、「職員駐車場」案を断念すると発表しましたが、どんな論理の転換があった、決断をされたのか、市民に対して、説明をお願いいたします。

半田病院あり方検討委員会の答申を踏まえ、市職員駐車場を適地として、一定の市民の皆様にも理解を頂いたと思っておりますが、住民投票の実現をめざす動きがあり、住民投票を実施することに、市民間の感情的ななすり合い、無用な混乱を避けるため、愛知県知事の助言もあり、半田運動公園東側地域等の新たな土地を、早急に検討することにしました。平成30年3月末までには、建設予定地を選定したいと考えています。

移転計画が遅れているのは、初動が遅

れてはいませんか。現在の診療棟が震度6強の地震で、倒壊、崩壊する危険性が高いとされたのは、平成15年。平成25年「半田市立半田病院将来計画策定」から、「あり方検討委員会」まで2年の空白があったのですが、なかなか検討に入らなかったのはなぜですか。

行政全体の計画の中で、小中学校の耐震化、災害時の拠点になる市庁舎の建て替えなどを行ってきた為であり、初動の遅れがあったとは考えてはおりません。

今後のスケジュールはどうなりますか。平成30年3月末までに、仮に半田運動公園を新病院建設予定地として決定した場合、30、31年度に各種調査、都市計画変更手続き、32、33年度で設計業務、34年度終盤から、建設工事にかかり、平成37年度開院になる見込みです。検討会議のメンバーは10名以内です。

半田市立半田病院建設構想は引き継ぎ事項となりますか。現行の急性期を担う病院機能や病床数の変更がなければ、回復期慢性期の医療機関の充足が必要です。

市政を問う

一般質問（質問議員が執筆しています）